

地蔵供養会

じぞうくようえ

お地蔵様は大変慈悲深く人々を救済する菩薩として様々な功德とご利益をもたらすとされています。地蔵供養会でお唱えするのは『地蔵菩薩本願經』の中の「属類人天品」という經典です。このお経の中で悪行を重ねた人間がたとえ地獄に落ちようとも、地蔵菩薩の姿を見たり名前を聞くだけで天が浄土に生まれ変わることができるとあります。さらにお経を読み供養することにより、神仏の加護を受けられ、災厄にも困らず、最後には悟りを開き仏になれるなど二十八種の利益があるとされておりま。当院のお地蔵様は特に子育て地蔵としても古くから信仰されておりま。お子さまの諸事安全、身体健全を願い是非ご参加ください。

今年は紫檀、黒檀と並ぶ唐木三大銘木である鉄刀木（たがやさん）の腕輪念珠をお授け致します。お子さまやご家族の分のお申込みも受け付けておりま。

【寺務所にて受付中】 講金：¥2,000



朝まいり会

6月1日~7日 午前8時~8時半 会費：500円也
皆様と一緒に「大聖歡喜天礼拝作法」を誦誦いたします。毎日参加されなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

写経の会

6月8日（日） 午前10時~午後1時 会費：500円也
お経を一文字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。

日曜勤行

6月8日（日） 午前9時 参加費無料
初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

信徒旅行

6月14日（土）
本年は川越喜多院様と川越氷川神社様をご参拝させていただきます

合同大般若法要

6月25日（水） 午前11時 法要料：5000円也
皆様と一緒に申し上げる御礼の法要です。

坐禅の会 ※予約不要になりました

6月28日（土） 午前9時半~10時半 参加費：500円也
僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

ライブ配信のご案内 御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。 (配信QRコード)



いちよう

「不自然な自然」

本龍院執事 深谷昌広



郊外に住んでいますので近所には田畑が点在しています。先日、田んぼの真ん中に不自然に木が生えているのを見かけました。不思議に思い目を凝らすと赤い鳥居と小さな祠がおまつりされています。どうやら田んぼの真ん中にわざわざこの神様のために木を残しているようです。お稲荷様が水神様でしょうか。残念ながら扁額も無いようで、神様のお名前を確かめることは難しいようです。「何ごとのおはしますかは知らねども、かたじけなさに涙こぼるる（どのような神仏がおまつりされているかは存じませんが、ただただありがたく涙がこぼれます）」西行法師の句を思いながら、祠に手を合わせました。

街中において自然の木立があると心が癒されます。皆さんもにぎやかな浅草の街を抜けて緑豊かな待乳山の境内に入ると、とても落ち着くと思います。

もともと江戸の町は為政の中心である関西から離れた田舎で、手つかずの自然広がっていました。しかし江戸時代になると都市部では民家や商家が立ち並び樹木はほとんどなく、主な緑地は寺社の境内と大きなお屋敷の中の庭園だけだった様です。また郊外においても田畑の開墾が進み、さらに石油がない時代の主な燃料であり、建物を作る資材でもある木は、ほとんど全てが切り倒され禿山が広がっていたようです。その結果自然の森林は少なくなり、江戸のお屋敷から出た落ち葉を肥料にするために農村へと送っていたこともあったようです。

つまり私たちの身近にある緑地のほとんどは、江戸時代には既に“自然”な緑地ではなく、維持管理された言わば“不自然な自然”だったのです。

この待乳山は、戦前は木立がうっそうと繁り「聖天の森」と呼ばれていました。現在でもいちょうをはじめ木々が多く生えています。これは聖天様のために先達が一所懸命に維持管理を続けてきた努力の結果です。今でも毎日寺男が境内の落葉を掃き清め、植木屋さんが1本1本大切に手入れをしてきれいに整えてくれています。

“不自然な自然”。それは神仏に対する敬虔な心の現れです。田畑の中に残された一本の木も街中の寺社の緑も、神仏を大切にお祀りする人々の心が現在まで守ってきました。この事を考えると、まさに「かたじけなさに涙こぼるる」という気持ちとなります。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiya.jp までメールをお送りください。



ご案内

信徒旅行を開催いたします

6月14日(土)信徒旅行を開催いたします。本年は川越喜多院様ではご住職からご説明をいただき、川越氷川神社様では本殿にて正式参拝させていただきます。寺務所にて受付しております。締切は5月末までです。知人友人等お誘い合わせの上是非ご参加ください。



浮世絵展開催予告

9月19日より10月9日までの期間「名利待乳山聖天と江戸の活力」というテーマのもと浮世絵展を開催いたします。江戸庶民の生活や文化を中心に当院所蔵の浮世絵等を展示する予定でございますので是非お越しください。

入館料は無料です。

*写真は前回開催時のものです



「身口意和合」水谷洸祐

用語

コラム

密教では身口意(身体、言葉、心)と呼ばれる三密加持という手法がとられます。人間のあらゆる行為を3種に分けた身(身体の動作)・口(言葉)・意(心)の「三業」(さんごう)と、仏様の身・口・意が持つ秘密のはたらき「三密」が一致することで、仏様と自分が一体化できるというものです。具体的には、手で印を結び、口で真言を唱え、心に本尊を想い描きます。つまり仏様になりきることになります。

このように聞くと、密教行者でない人からすると、縁のないように感じるかもしれませんが、決してそのようなことはありません。仏教には「一切衆生悉有仏性」という、一人一人の人間が仏となる可能性を秘めているという教えがあります。つまり、どのような人にも身口意の一致は可能であるということになります。お寺で手を合わせるだけでも仏様に触れる機会の一つです。拝むことで、仏様の存在をより強く感じられるでしょう。三密加持の身・口・意を清める行為は、日常生活にも役立ちます。正しいおこない、きれいな言葉遣い、優しく広い心を持つことで、皆様も仏様に近づけるかもしれません。憧れの人や目標、自分がこうなりたいという状態に、なりきること、それだけで十分です。すると自分の心の内側で菩提心がおこり、自分ではみえない自分の成長を実感できることでしょう。

なにか叶えたい願望や目標がある場合は、お寺で仏様に触れ合って自分自身と向き合い、身口意和合を試みてはいかがでしょうか。

ご報告

「安全講」

おだやかな気候のなか4月20日(日)多くの参拝者参列のもと安全講大祈禱会を執行いたしました。また法要終了後、新たに信徒総代に就任された神崎義己様と上嶋三千和様に住職より委嘱状とお褒状が授与されました。



「4月20日小澤弘先生講演会」

今秋開催を予定しております浮世絵展に伴い、安全講法要の後、信徒会館大広間に於いて、現・淑徳大学人文学部客員教授で江戸東京博物館都市歴史研究室長・教授などを歴任された小澤弘先生に葛屋重三郎の活動を中心に江戸社会と浮世絵の魅力について講演していただきました。



「御奉納」

当院の庭園のお手入れ等をしていただいている福寿園様より胡蝶蘭と共に台を御奉納いただきました。寺務所にお飾りさせていただきます。ありがとうございました。



ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壱万二千元(一週間)
浴油祈禱 四千元(一週間)
華水供 六百元(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

